

NB30P



NET 2kg

荷姿:2kg×5袋

NB30Pは微生物と酵素（Mリンカリン）の働きにより、リン酸の固定化を防いで効率よく効かすことができるリン酸カリ、マグネシウム肥料です

独自の微生物と酵素(Mリンカリン)の働きで、リン酸が固定化されずよく効く！

吸収しやすいリン酸

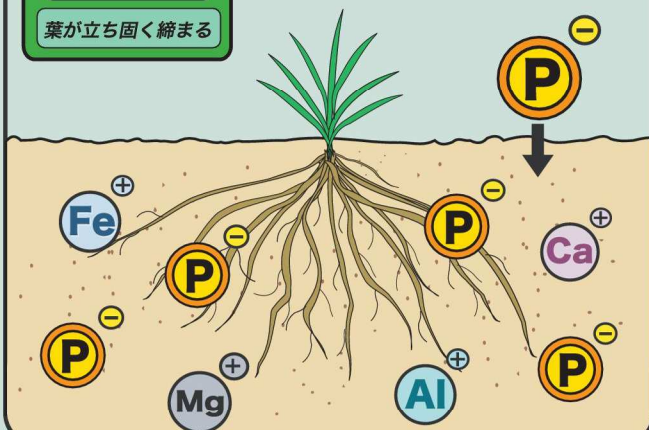
リン酸が効くと！

根量が多くなる

耐病性が強くなる

葉が立ち固く締まる

NB30P



施肥後すぐに土の表面で土中の金属と結合し、効かないリン酸になってしまう

吸収できないリン酸

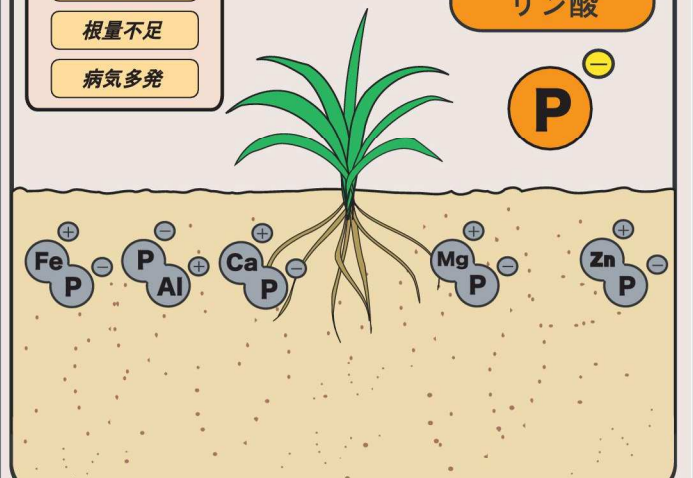
リン酸不足は

軟弱成長

根量不足

病気多発

一般の水溶性リン酸



発売元

株式会社 **マイスター**

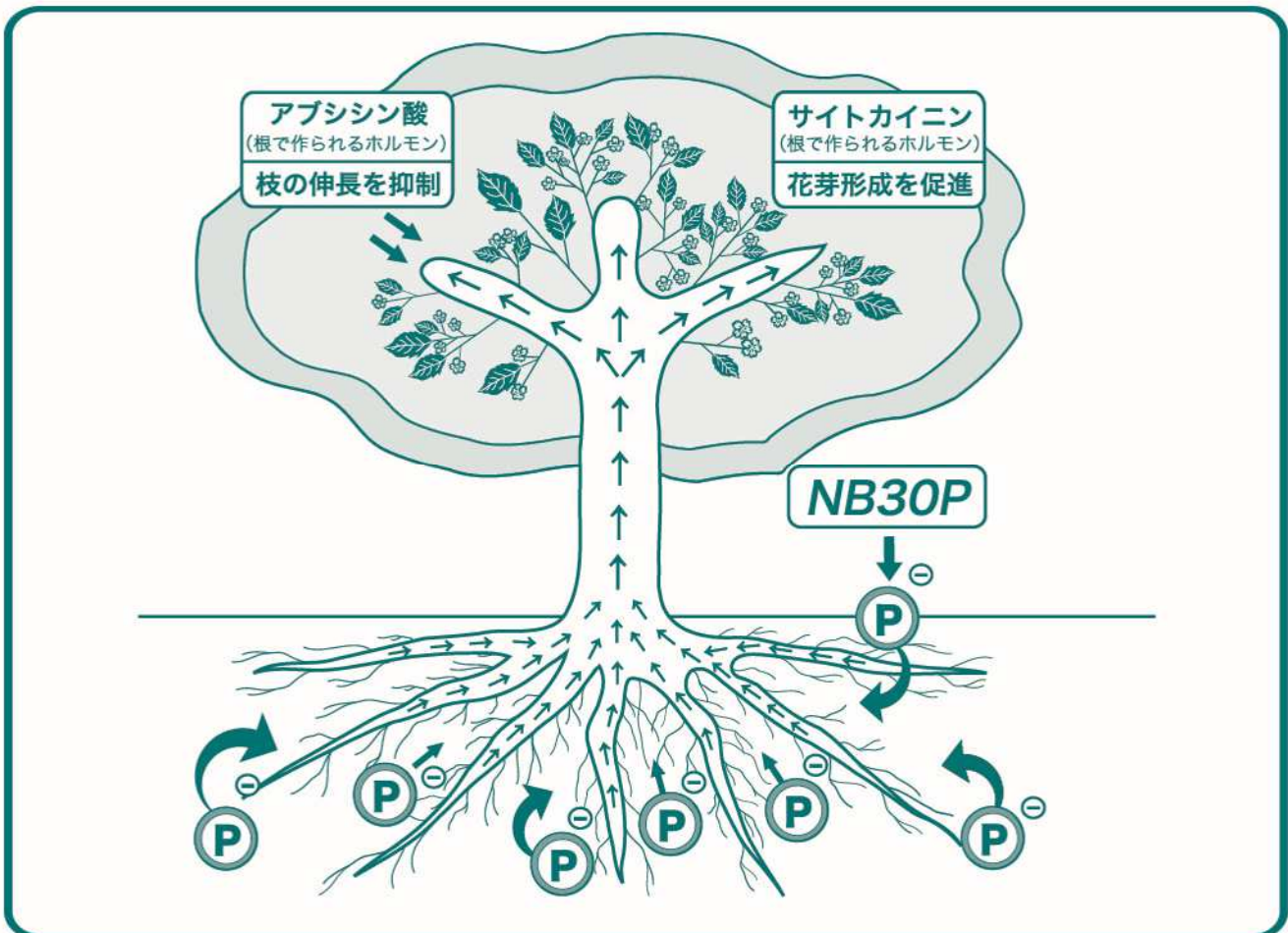
〒356-0033 埼玉県ふじみ野市大原1-12-19

TEL 049-265-4041

FAX 049-265-1622

▶ リン酸とホルモンの関係

植物体内で行われる光合成は、**アデノシン-3リン酸 (ATP)** がカルビン・ベンソン回路に作用してCO₂固定やブドウ糖合成を行う代謝反応である。リン酸を基に作られる**ATP**は重要なエネルギー源であり、回路中で合成、使用される物質もほとんどがリン酸を含んでいる。**リン酸吸収が高まると光合成が活発化、体組織の合成が誘発されて発根が促進される**。根中では植物活性に作用する多くの植物ホルモンが作られる。この内、ピルビン酸とグルタルアルデヒド-3リン酸を基に作られる**アブシシン酸**は**枝葉の徒長を抑える作用**と、ジベレリンの働きを抑制して貯蔵タンパクや糖の分解を抑える作用を持つ。オーキシンの細胞分裂促進やタンパク合成促進作用との相互作用により、**伸長を抑えて細胞量を増やし、緻密な体構成となるので耐病性が強化され悪天候の影響を受けにくくなる**。



保証成分(%) チッソ全量4.0 水溶性リン酸30.0 水溶性加里6.0 水溶性苦土 5.0

月別、年間施肥量例 (g/m²)

1回当たりの施肥量は 1~2g/m²

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
NB30P	2	2	2	3	3	4	4	4	4	3	2	2	35

【製造元】 株式会社 ミズホ生化学工業 岐阜県瑞浪市土岐町字南山8017番地の62